岩盤ボーリング柱状図

調　　査　　名　鞆松永線道路改良事業に伴う業務委託

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　道路　構造物基礎

ボーリング名	Boring No.15	調査位置	No.6+10.0 L-9.50	北緯	34° 22' 44.4178"
発注機関	広島県東部建設事務所	調査期間	令和2年 5月18日～ 令和2年 5月20日	東経	133° 22' 31.6944"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 34.51m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	11.00m	地盤勾配	2° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機株式会社D1-C型
					エンジン：ヤンマーNFD-12型　ポンプ：東邦地下工機株式会社BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 (cm) / RQD (%)	記事	孔内水位／測定月日
	34.36	0.15		シルト混じり砂										5/19 無し
	34.21	0.30		シルト混じり砂礫		w5	h4		V	d	DM			
1						w4	h3	D	IV		DH	8 [0] (100) / 19 [19] (100)	表土層。細砂を主体とし、シルト分を含有する。草木根含有する。φ2～5mm程度の亜角礫と細砂を主体とする。中生代白亜紀の流紋岩。地下浅所より新鮮硬質な岩盤が確認される。岩相は凝灰質を呈する。	表土層
2														
3						w3		C	III	c	CL	30 [85] (100) / 14 [24] (100)		5/20 3.25
4													GL-4.00m以深、硬質新鮮となり、CM級相当の岩盤が確認される。	白亜紀・（吉田流紋岩層）
5									II			55 [40] (100)		
6			Ry	流紋岩			h2		IV			50 [65] (100)		
7						w2		B		b	CM	37 [90] (100) / 50 [91] (100)	GL-6.60～6.70m間局部的な脆弱部。	
8									II			22 [89] (100)		
9												37 [92] (100)		
10						w3		C		c		27 [89] (100)	GL-10.00m以深、岩片やや風化し軟質となる。岩片中に潜在的亀裂確認される。	
11	23.51	11.00												
12														

標準貫入試験

深度	N値	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1.00	50以上	50	100	
1.10		100		
2.00	50以上	貫入不能		
3.00	50以上	貫入不能		
4.00	50以上	貫入不能		
5.00	50以上	貫入不能		
6.00	50以上	貫入不能		
7.00	50以上	貫入不能		
8.00	50以上	貫入不能		
9.00	50以上	貫入不能		
10.00	50以上	貫入不能		
11.00	50以上	貫入不能		

原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度(cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧(MPa)	回転数(rpm)	送水圧(MPa)	削孔水・送水量(L/min)	排水量(L/min)
			200	66/ケーシング	打込み/打込みシュー/φ66	0	0	0	W1/0	0
			120							
			100	66	D/DC	10	180	0	W5/5	5
		5/19								
						20	200			
		5/20								